

Hem21 NEWS

公益財団法人
ひょうご震災記念21世紀研究機構
ニュース

CONTENTS

- ①～② ひょうご震災記念21世紀研究機構研究成果報告会を開催
- ②～④ 情報ひろば
- ⑤ HAT神戸掲示板
- ⑥～⑧ 人と防災未来センター MiRAI

「Hem21」は、ひょうご震災記念21世紀研究機構の英語表記である Hyogo Earthquake Memorial 21st Century Research Instituteの略称です。

令和5年(2023) 7月 Vol.100

ひょうご震災記念21世紀研究機構研究成果報告会を開催

平成30(2018)年度から令和3(2021)年度にかけて取り組んだ「南海トラフ地震に備える政策研究」プロジェクトの研究
成果報告会を5月10日(水)に開催し、約120人が参加しました。本研究では、南海トラフ地震に備える政策の在り方を「国と
社会」「被災社会」の観点から検討し、具体的な復興像が浮かび上がるような諸課題と政策の具体的な検討・提言が行われ
ました。研究成果の報告をはじめ、南海トラフ地震に立ち向かうためにさらに検討されるべき課題も論じられました。

◎あいさつ

五百旗頭 真 (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長



本成果は、次に起
こり得る大災害であ
る南海トラフ地震へ
の備え—南海トラフ
地震の様相、その時
に何が起こるのか。
わが国の社会変動の
中で、どのように備え
るべきなのか—について、シミュレーションなどに基づく防
災工学の観点、行政の実態解明や検証を行う社会科学の
観点の双方から検討した、総合的な研究成果であることを
紹介しました。南海トラフ地震対策研究には解決すべき多
くの難題が残されているが、本成果を通じて、さまざまな側
面から来るべき大災害への備えについて共に考えていき
たいという旨を、結びに述べました。

◎基調講演

「南海トラフ地震のこれまでの減災研究と今後の展開」

講師 河田 恵昭 人と防災未来センター長



南海トラフ地震を
含む国難級災害が、
わが国に壊滅的被害
を及ぼす可能性を示
しました。これまでの
大災害でも甚大な被
害を引き起こしてきた
「災害の相転移(劇
的かつ非連続的な被害拡大を引き起こす社会現象)」の

防止が、被害を国難レベルから一般災害レベルに抑える
ことにつながるので、地震被害に伴う避難の困難化による
津波犠牲の拡大など、多岐にわたる被害への警戒と、それ
らを未然に防ぐ対策の必要性を訴えました。「災害の相転
移」を防ぐには、科学的知見に基づく対策の実施だけでは
なく、経済的な豊かさや文化的な豊かさを通じて養われる
防災力の向上も有効だと指摘しました。「災害の相転移」
を防ぎ、被害情報などを共有するシステムや部署間連携
手法の行政への導入、そして事前の防災対策を行うこと
で、被害規模を軽減でき、復旧・復興期間を短縮できるこ
とを示しました。防災体制の構築に向けてはまだまだ課題
が存在し、それらの解決には、新たな法整備や、南海トラフ
地震対策研究を継続する必要性を訴えました。

◎パネルディスカッション

「国難災害 南海トラフ地震に立ち向かうために」

コーディネーター	牧 紀男	京都大学防災研究所教授
パネリスト	立木 茂雄	同志社大学社会学部教授
	飯尾 潤	政策研究大学院大学教授
	越山 健治	関西大学社会安全学部教授
	永松 伸吾	関西大学社会安全学部教授
	阪本 真由美	兵庫県立大学大学院減災復興政策 研究科教授
	中林 啓修	国土大学防災・救急救助総合研究所 准教授

パネリストの先生方からは、避難支援が特に必要な人を
特定する方法とその制度化、部局を超えた連携や災害時
の部局組み替えを容易に行える行政の体制づくり、広域
対応に向けた府県の積極的役割、生活再建と地域復興の
乖離も念頭においた広域復興、災害復興における住宅再
建支援の有効性、被害を軽減するために自然災害保険を

活用する意義、行政のパートナーとして民間企業が災害対策に参画する意向の実態、長期停電による関連死や季節性リスク、震源域隣接部への被害可能性など、研究成果やそこから得られる提言が紹介されました。

さらに進んで、行政に手を挙げられない人々を支援するサードセクターと行政の間接的つながり、行政があらかじめさまざまな準備を幅広く検討すること、復興に直結する地域ポテンシャルの向上、復興を担うことができる地域内の人々を支援する仕組み、地域に関係なく一人一人が当事者意識を持って防災に関与すること、災害対策における効率的な資源活用など、これらの意義や必要性も論じられました。

以上が示された上で、コーディネーターの牧教授がまとめとして、政策研究として本成果で示された知見の意義、南海トラフ地震研究を今後も継続する必要性を述べました。

最後に総括として、五百旗頭理事長が、社会全体の在り方を総合的に示す政策研究を通じてこれからも当機構が政策形成に貢献していく旨を述べ、締めくくりました。



情報ひろば

研究戦略センター

「ひょうご講座2023」開催のご案内

21世紀文明を切り拓く高度な研究成果や専門的知識を得たいという県民の学習ニーズに応えるため、「ひょうご震災記念21世紀研究機構」のネットワークを活用し、大学教養レベルの高度な学習機会を提供する「ひょうご講座」を開催します。この機会にぜひ受講しませんか。

■一般コース

迫り来る巨大災害への備えや変容する社会や地域への対応、私たちを取りまく国際情勢への理解を進めるため3分野で実施します。

○開講分野

分 野 名	回数
防災・復興：次なる巨大災害に備える	10回
社会・地域：縮小する社会から持続可能な社会へ	10回
国際理解：分断と多様性の世界と日本	10回

- 開講時期＝9月～12月
- 開講時間＝平日18時30分～20時
- 受講料＝15,000円(1分野)
- 定員＝防災・復興分野 40人予定、社会・地域分野、国際理解分野各50人予定
(先着順。お申し込みはお早め！)
- 開講場所＝兵庫県民会館(神戸市中央区下山手通4-16-3)

※各分野の開講日等詳細については、「ひょうご講座」ホームページ(<https://www.hyogo-al.jp/kouza/>)でご確認ください

※講師は、それぞれの分野で活躍されている大学教授を中心に、マスコミによく出演されている方の講義もあります。ホームページをご覧ください

《内容の紹介》

『防災・復興：次なる巨大災害に備える』

関東大震災から100年となる中、この30年の間にも阪神・淡路大震災や東日本大震災、全国各地での集中豪雨等の多くの自然災害が発生しています。

また南海トラフ地震や首都直下地震などの発生が懸念され、さらに地球規模の気候変動がもたらす自然災害の頻発化、激甚化が指摘されています。

改めて自然災害について学ぶとともに、次に来る巨大災害に対する備えについて考えていきます。

『社会・地域：縮小する社会から持続可能な社会へ』

バブル崩壊以降、2つの大震災の発生、新型コロナウイルス感染症によるパンデミック、そしてロシアによるウクライナ侵攻等が起こる中、日本社会は急速な少子高齢化の進展による人口減少、さらには経済の長期にわたる低成長や円安の進行などにより、世界の国の中での経済的な地位も低下しつつあります。

このように縮小する日本社会および地域の現状や今後の見通し、持続可能な社会への移行について、幅広く考えます。
※本年度から、社会的に関心のある分野を幅広く学べる「社会・地域」を従前の一般コース「地域創生」、リカレントコース「経営戦略」を改編して実施します

『国際理解：分断と多様性の世界と日本』

社会全体の必要とともに、個人の自由をも重視する米国を中心とした自由主義体制。一方、政府が判断する国家の必要のため、個人の自由は控えるべきとする中国を中心とした権威主義体制。

激しい米中対立が続く中、ロシアによるウクライナ侵攻などにより、両極化が進むとともに、インドをはじめとするグローバル・サウスの台頭により世界の多様性も鮮明になってきています。

そうした急速に変化する世界の動きを見ていくとともに、日本の取るべき道についても考えていきます。

■リカレントコース

AIやICTが急速に進化し社会が大きく変化する中、現役社会人等の専門的な学び直しの機会を設け、キャリアアップや起業・転職に向けたセカンドキャリア構築の一助として、新たな時代に対応できるようデータ処理等の入門講座を開講しています。

○開講分野

分 野 名	回数
データサイエンス：ビッグデータ、AIとその周辺を読みとく	10回
AI活用実習：AI活用のための基礎技術とその応用を学ぶ	5回

- 開講時期＝9月～12月
- 開講時間＝平日18時30分～20時
- 受講料＝5回講座は7,500円、10回講座は15,000円
- 定員＝各20人予定(先着順。お申し込みはお早めに！)
- 開講場所＝兵庫県民会館(神戸市中央区下山手通4-16-3)

※各分野の開講日等詳細については、「ひょうご講座」ホームページ(<https://www.hyogo-al.jp/kouza/>)でご確認ください

◀ 内容の紹介 ▶

『データサイエンス：ビッグデータ、AIとその周辺を読みとく』

情報科学技術の目覚ましい進歩は、社会のあらゆる領域に多大な影響を与えています。とりわけ、ビッグデータ、人工知能(AI)などの活用が注目されています。

新型コロナウイルスの感染拡大によりこうした動きがさらに加速された状況の中、社会とデータサイエンスとの関わりやこれらの技術はどのようなものなのか、どのように展開されていくのか、関連諸分野を含めて学びます。

※兵庫県立大学大学院情報科学研究科の若手の先生方によるリレー講義です

※商品の種類や売れ行き分析など具体的な事例も交え、ビッグデータや人工知能(AI)に関する最新の学びを体験できます

『AI活用実習：AI活用のための基礎技術とその応用を学ぶ』

ビッグデータの普及を背景にAIは急速に進化し、次世代産業などを担う原動力として注目を集めています。

こうした中、AI活用で多用されるプログラミング言語Pythonによる機械学習プログラミングに取り組みます。PCを使った実習を通して、実際に手を動かして機械学習プログラムを体験することで、その基礎技術に対する理解を深め、今後の応用につながる実践的な知識や技能を身に付けます。

※兵庫県立大学大学院工学研究科の森本准教授から、プログラミング言語Pythonについて分かりやすく学べます

※実習はWindowsノートパソコンで行いますので各自でご用意願います

応募方法

- 募集締め切り＝8月21日(月)(必着。一般コース、リカレントコースともに)
※「AI活用実習」については、9月29日(金)必着

※インターネット、FAX、郵送で受け付けます。いずれも先着順に受け付け、定員になり次第締め切ります

※台風等や講師の都合により、休講またはオンライン講義となる場合や、担当講師・テーマ等を変更する場合があります。あらかじめご了承ください



[申し込み・問い合わせ]

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 交流推進課 ひょうご講座担当
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館6階
TEL 078-262-5713 FAX 078-262-5122

<https://www.hyogo-al.jp/kouza/>

兵庫県こころのケアセンター

令和5年度第1期 こころのケア研修の受講者募集

こころのケアに携わる保健・医療・福祉・教育・消防・警察等の分野で活動されている方を対象に、各種課題への対処法等について学ぶ研修を実施しています。

9月から11月にかけて実施する研修の受講者を募集しています。

●研修概要

区分	コース名	期 間	定員	対 象	受講料	申込締め切り日
専門 研修	被害者や被災者の中長期の回復を支えるこころのケアサイコロジカル・リカバリースキル(SPR)ー	9月6日(水) 7日(木) (2日間)	35人	医師、公認心理師、看護師、保健師、精神保健福祉士、その他関連領域の関係者	3,600円	7月26日(水)
	DV被害者のこころのケア【Web開催】	9月22日(金)	35人	母子自立支援員、女性相談員(婦人相談員)、婦人保護施設職員、母子生活支援施設職員、家庭問題相談員、保健師、福祉事務所職員、こども家庭センター(児童相談所)職員、警察、DV被害者相談支援関係職員	2,500円	8月11日(金)
	消防職員のための惨事ストレスの理解と予防	10月4日(水) 5日(木) (2日間)	35人	消防職員	3,600円	8月23日(水)
	犯罪被害とこころのケア	10月19日(木) 20日(金) (2日間)	25人	保健・医療・福祉・教育・司法・警察・消防関係等職員	4,100円	9月7日(木)
	消防職員のための惨事ストレスの理解と予防(ステップアップ)	11月15日(水) 16日(木) (2日間)	25人	消防職員【消防職員のための惨事ストレスの理解と予防研修を受講済みの者】	4,100円	10月4日(水)
基礎 研修	関わりの中のトラウマインフォームド・ケア【Web開催】	11月2日(木)	35人	教育・福祉・保健・医療関係等の対人支援業務従事者	2,500円	9月21日(木)

- 場 所 等 = 兵庫県こころのケアセンター または Web (Zoomで実施)
- 申し込み方法 = 受講申込書(※)に必要事項を記入の上、郵送、Eメールで下記申し込み先へお送りください。申込者多数の場合は、各申込締め切り日を期限として、初めての受講の方を優先の上、抽選で受講者を決定します。
※当センターホームページからダウンロードできます

[申し込み・問い合わせ]

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 兵庫県こころのケアセンター 研修情報課
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2(阪神「春日野道」駅から徒歩約8分)
TEL 078-200-3010 FAX 078-200-3017
Eメール kensyu@j-hits.org
<https://www.j-hits.org/>

Webマガジン

Wonderful
K O B E

2巡目の神戸。
明日は今日よりちょっと
幸せになる。

季節の特集、食や暮らし、SDGsの話題に、毎日更新するパンコーナーも。会員登録不要です。



ワンダフルコウベ編集部
(運営:株式会社 神戸新聞総合印刷)

HAT神戸 掲示板

兵庫県立美術館

特別展「Perfume COSTUME MUSEUM」

本展は、『Perfume COSTUME BOOK 2005-2020』（文化出版局、2020年）を起点に、厳選した約170着の衣装を展示する初めての大規模衣装展です。Perfumeメジャーデビュー以降の衣装を時系列でとり、3人のメンバーがこの展覧会のために特別に選んだ衣装も展示します。さらに、初公開となる型紙やデザインの発想源を示す制作資料を紹介します。これまで大切に保管されてきたコスチュームから、Perfumeの魅力をもとく展覧会です。

- 会期＝9月9日(土)～11月26日(日)
- 観覧料＝一般1,800(1,600)円、大学生1,400(1,200)円、高校生以下無料、70歳以上900(800)円、障がいのある方(一般)450(400)円、障がいのある方(大学生)350(300)円
- ※()内は団体料金
- ※一般以外は要証明書

- ◎休館日＝月曜日(ただし9月18日(月・祝)と10月9日(月・祝)は開館、9月19日(火)と10月10日(火)は休館)
- ◎開館時間＝10時～18時 ※入場は閉館の30分前まで
- ※展覧会についての詳細は兵庫県立美術館ホームページ(<https://www.artm.pref.hyogo.jp/>)にてご確認ください
- ◎問い合わせ TEL 078-262-1011



『Perfume COSTUME BOOK 2005-2020』より「TOKYO GIRL」2017年 ©文化出版局

JICA関西

◆食べることから始める国際協力! JICA関西食堂の月替わりエスニック料理

JICA関西1階の食堂(カフェテリア)は、どなたでもご利用いただけます。完全禁煙で、子供椅子もご用意しておりますので、お子様連れも大歓迎です。月替わりエスニック料理は、いつもご好評いただいております。

1947年8月14日はパキスタン・イスラム共和国の独立記念日です。同記念日にちなんで、8月はパキスタン料理をご提供します。



写真は7月のモルディブ料理

ウズベキスタン共和国は1991年8月31日に独立宣言が出され9月1日はウズベキスタンの祝日になっていることから、9月のエスニック料理はウズベキスタン料理をご提供します。

月替わりエスニック料理の詳細と写真はこちら→



JICA関西食堂
<https://www.jica.go.jp/kansai/office/restaurant/index.html>

- 営業時間＝(昼)11時半から14時まで(夜)17時半から21時まで ※各終了30分前ラストオーダー
- コロナの状況を踏まえて営業時間に変更になる可能性があります。
- 定休日＝年中無休(年末年始を除く。)
- (注)詳しい休業日についてはJICA関西ホームページをご確認いただくか、下記までお問い合わせください。

◎問い合わせ
JICA関西(独立行政法人国際協力機構関西センター)総務課
TEL 078-261-0341 FAX 078-261-0342
Eメール jicaksic-event@jica.go.jp
その他、詳細はJICA関西ホームページをチェック!
→ <https://www.jica.go.jp/kansai/>

日本赤十字社 兵庫県支部

司法書士による相続・遺言講座を開催します!

令和6年4月1日、相続登記の義務化がスタートします。この機会に、相続登記の義務化を含め、「相続」「遺言」について学びませんか。

- 相続・遺言講座
- 日時＝令和5年10月29日(日)13:00～14:00(開場12:00)
- 場所＝日本赤十字社兵庫県支部 7階大会議室
- 定員＝80名 要事前申込【申込多数の場合は抽選】(締切8月31日(木))
- また、同日に相続・遺言無料相談会も開催します。
- 詳しくは、日本赤十字社兵庫県支部のホームページ(<https://www.hyogo.jrc.or.jp/>)でご確認ください。



いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。

- 郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます
- 口座記号番号：01110-0-1136
- 口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部
- ※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です

◎問い合わせ
TEL 078-241-8921(振興課)

赤十字 兵庫 検索



令和5年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」

平成7(1995)年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の経験と教訓を未来に向けて継承していくため、学校や地域で防災教育や防災活動に取り組んでいる子どもたちや学生を全国から募集し、顕彰する事業です。例年、受賞校の表彰式・発表会を兵庫県公館で開催しており、令和5(2023)年度は19回目となります。

次世代を担う子どもたち・学生の防災活動や災害支援に取り組む活動が、防災教育の新たな道を切り開いて進むように、との願いを込めて、1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」を実施します。

[対象部門]

①小学生 ②中学生 ③高校生 ④大学生 ⑤特別支援学校・団体

[対象活動]

自然災害から命と暮らしを守るための防災教育や防災活動の取り組み(被災地支援活動も含む)

※学校、クラス、サークル活動、ボランティア活動、地域などの単位で応募してください

[対象期間]

令和5(2023)年4月1日～令和6(2024)年3月31日(活動予定も含む)

[応募締切]

令和5(2023)年9月30日(土)

[応募方法]

右記のQRコードより応募書類をダウンロードの上、メールで送信してください。

メール確認後1週間以内に、事務局から応募の確認と今後の予定についてメールを送ります。

[問い合わせ先]

〒650-0012

神戸市中央区北長狭通4-2-19 アムズ元町ビル4階

ぼうさい甲子園事務局(特非)さくらネット

TEL 078-995-7922 FAX 078-939-7035

Eメール bousai_koushien@yahoo.co.jp



応募書類
ダウンロード用



ぼうさい甲子園
特設サイト

企画展「令和4年度ぼうさい甲子園受賞校活動紹介展」を開催しました

人と防災未来センターでは、6月6日(火)から7月17日(月・祝)まで、西館1階ロビーで企画展「令和4年度ぼうさい甲子園受賞校活動紹介展」を開催しました。

受賞校の活動内容を広く紹介するために、生徒たちが作成した作品を展示。防災訓練や避難所運営方法の新たな発案や、防災・減災を学ぶための音楽やダンスの創作など、さまざまな取り組みを紹介しました。



「故 大島賢三 元国連大使を偲ぶシンポジウム」を開催しました

人と防災未来センターを事務局とする国際防災・人道支援協議会(DRA)では、国際協力機構(JICA)、ひょうご震災記念21世紀研究機構と共催し、5月22日(月)に「故 大島賢三 元国連大使を偲ぶシンポジウム」を開催しました。

2021年5月に逝去された大島氏は、JICA関西センター、国連人道問題調整事務所(OCHA)神戸事務所などの誘致に尽力し、DRAの礎を築き、HAT神戸における防災・人道支援の国際的拠点の形成に寄与されました。また、国連大使、国連事務次長を歴任するなど国際人道支援分野で多大な功績を残されました。今回のシンポジウムでは、大島氏と縁のある皆さんに登壇いただき、大島氏が取り組んだ国際的な防災・人道支援活動の重要性について議論しました。

基調講演1では、井戸敏三・ひょうご震災記念21世紀研究機構特別顧問(前兵庫県知事)が、HAT神戸に「国際人道救援ナショナルセンター」の設立を大島氏が提案し、後の人と防災未来センターやJICA関西につながったと説明しました。また、西オーストラリアのパースに設置されていた兵庫県海外事務所の活動が大島氏から評価されていたと述べました。

基調講演2では、星野俊也・国連合同監査団(JIU)監査官がスイスのジュネーブからオンラインで登壇し、大島氏の外交について「課題に正面から真っ直ぐに向き合う“気合”の外交」など3つの特徴と、人道的救援に携わるモチベ

ーションが広島での被爆経験にあることを紹介し、これからの国際協力と人道支援に向けて「大島外交」のレガシーを私たちが受け継ぎ、発展させたいと語りました。

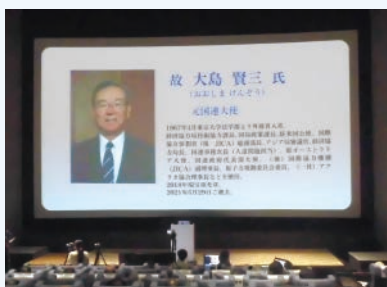
パネルディスカッションは、阿南惟茂・元駐中国日本国特命全権大使、芹田健太郎・神戸大学名誉教授、河田恵昭・人と防災未来センター長、宮崎桂・JICA理事をパネリストに迎え、大島氏との思い出を交えながら進行了しました。

阿南元大使は、外務省の同期である大島氏について、謙虚な人柄で、強い使命感と弱者への思いやりを持っていたと話しました。芹田名誉教授は、OCHAのHAT神戸誘致にまつわる大島氏とのエピソードを紹介しました。河田センター長は、国際防災の推進に当たり、人道支援を掲げた大島氏の実践が反映されていると述べました。宮崎理事は、大島氏が外務省において「緊急援助隊の派遣に関する法律(1987年施行)」の制定に関わり、JICAの国際緊急援助隊の歴史はここから始まったと説明しました。

モデレーターを務めた五百旗頭真・DRA会長は、「大島氏の人物・経歴・役割を立体的に描き出す素晴らしいシンポジウムであった。また、災害・地球温暖化・戦争から人類を守る『新時代の『人間の安全保障』』を考える機会にもなった」と総括しました。



見逃し配信視聴



(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
観覧案内・予約 / TEL 078-262-5050 <https://www.dri.ne.jp/>

開館時間

9時30分～17時30分(入館は16時30分まで)

入館料金

大人:600円(450円) 大学生:450円(350円)

東館のみ観覧の場合

大人:300円(200円) 大学生:200円(150円)

高校生・中学生・小学生:無料

※()内は20名以上の団体料金

※障がい者、70歳以上の高齢者割引有

※毎月17日は、入館無料(17日が休館日の場合は、翌18日となります)

休館日

毎週月曜(月曜が祝日の場合は翌平日)、12月29日～1月3日

※ゴールデンウィーク期間中(4月29日から5月5日まで)は無休

※資料室の開室日についてはホームページでご確認ください

交通

- 鉄道**
- ・阪神電鉄「岩屋」駅、「春日野道」駅から徒歩約10分
 - ・JR「灘」駅南口から徒歩12分
 - ・阪急電鉄「王子公園」駅西口から徒歩約20分

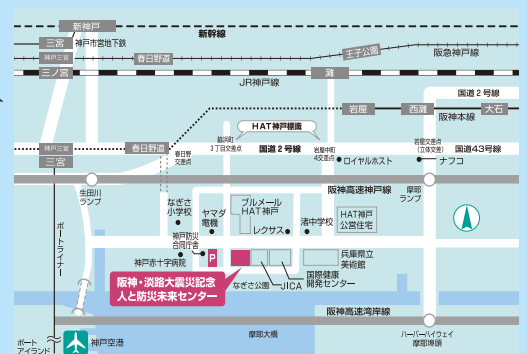
バス

- ・三宮駅から約15分

車

- ・阪神高速道路神戸線「生田川」ランプから約8分
- ・阪神高速道路神戸線「摩耶」ランプから約4分
- ・阪急・阪神・JR「三宮」駅から約10分

●有料駐車場あり



新任震災資料専門員紹介

■ 龐 朝霞(ほう ちょうか)

4月から震災資料専門員として着任いたしました龐朝霞と申します。中国の河南省出身です。奈良女子大学の博士後期課程に在学しています。中国の大学で2年間、日本語教育を専門として学び、その後日本の大学に編入しました。修士課程では、見知らぬ人に対する援助行動について研究し、それがきっかけで非常時における援助行動に関心を持つようになりました。

実家は地震災害に遭ったことはありませんが、2008年の四川大震災が発生した際、ちょうど午後の授業が始まったところで、強い揺れを感じました。その経験を通じて、災害が私たちの生活に与える影響と「命を守る」ことの大切さを実感しました。また、その際、被災地のリアルタイム報道を何度も見て、災害対応において個人の力だけでは限界があり、他者と協力して生き残ることが重要だという認識も深まりました。そのため、博士課程では、コミュニティ防災(中国語では「社区減災」と呼ばれます)について研究を始め

ました。

災害研究の一環として、過去の災害記憶を若い世代に伝えることは非常にやりがいのあることだと考えています。そのためには、震災資料の保存と整理だけでなく、それを活用して分かりやすい形で情報を発信することが不可欠です。また、被災者たちの苦労や勇気を後世に伝えることは、防災教育の一環としても重要な役割を果たすと信じています。

今後、震災資料専門員として震災資料の収集と整理に取り組みながら、その情報を広く共有し、震災の教訓を生かした防災意識の普及に貢献していきたいと考えています。



■ 山崎 ひとみ(やまさき ひとみ)

4月から震災資料専門員として着任いたしました山崎ひとみと申します。私は視聴覚メディア(映像フィルムやビデオ、録音テープなど)の取り扱いを専門とするアーキビストで、これまでは、映画の長期保存のための調査研究や美術館収蔵作品外資料の所在の可視化など、後世に残すべき記録物の整理・保存・利活用促進事業に携わってきました。

日本ではあまり重視されないアーキビストや図書館司書といった「情報」の専門職は、人々の生きた証しであるさまざまな記録物と向き合い、それらが情報として生き続けるための保管環境を整備します。また、目録を作るなどして利用しやすくし、知的資源の循環を支えます。

人と防災未来センターに収蔵される阪神・淡路大震災関連資料の中には、文書や写真といったそれ自体の持つ情報量が多いものだけでなく、現物と震災との関係(=資料を残す意味)を旧蔵者との対話の記録で補う必要のあるモノもあります。私的な経験、思い出に価値を見だし、

被災の記憶の一部として継承していくことも、この資料室の大事な役割だと思っています。

いつ起こるか分からない災害は、誰にとっても他人事ではありません。時間がたち何度忘れられても、いつでもアクセスできる情報、学ぶ機会がここに在り続けることで、記録と記憶はいつまでも私たちの未来の助けとなります。収蔵されているもの、これから収蔵されるものを守り、次世代へ手渡していくという大きな営みの一端を担いながら、日々の活動においては、災害・防災学習や研究をしたいと思う皆さんが、膨大な収蔵資料の中から必要とする情報を探し出せるよう知識を広げ、検索・利用サービスの向上に努めていきたいと考えています。



Hem21 NEWS
vol.100

令和5年7月発行

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構

〒651-0073

神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2(人と防災未来センター)

<https://www.hemri21.jp/>

当機構は、以下の組織で構成しています。

●管理部

TEL 078-262-5580

FAX 078-262-5587

●研究戦略センター

▶研究調査部

TEL 078-262-5570

FAX 078-262-5593

●人と防災未来センター

TEL 078-262-5050

FAX 078-262-5055

▶学術交流部

TEL 078-262-5713

FAX 078-262-5122

●こころのケアセンター

〒651-0073

神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2

TEL 078-200-3010

FAX 078-200-3017

ニュースレターに関するご意見・感想を機構までお寄せください